

患者の皆様へ

2018 年 1 月 29 日

肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「膵癌の遠隔転移を規定する calcium signaling pathway に関する研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では膵疾患の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。膵癌の診断で 2010 年 6 月から 2015 年 3 月までに当科にて根治手術を施行され、病理用パラフィンブロックが作成されて保管されている患者様が対象です。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「膵癌の遠隔転移を規定する calcium signaling pathway に関する研究」

2. 研究の意義・目的

膵癌は外科的根治手術が可能であっても、術後早期に再発、転移を来すことのある疾患です。そこで本研究では、遺伝子改変膵癌マウスモデルを使った研究から同定された、転移関連因子である CAMK2B 及び PTHLH 蛋白に関する、ヒト膵癌組織内の発現の多寡を調べることにより、膵癌の転移や癌進展度診断に深く関わる蛋白の意義を研究し、膵癌転移メカニズムを解明することで、転移制御に繋がる治療法を見出すことを目的としました。

3. 研究の方法

膵癌の診断で 2010 年以降（～2015 年）に当科にて根治手術を施行され、手術時に病理用パラフィンブロックが作成されて保管されている患者さんが対象です。対象患者様の病理用パラフィンブロックを使用して各種免疫染色による組織内蛋白発現を解析し、各患者様の臨床病理学的因子や予後との関連を評価します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。データは匿名化された後、千葉大学にて解析されます。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院 肝胆膵外科

医師 高野 重紹

043 (222) 7171 内線 72225